安全で安心な県土づくり

【基本方針】

県では、災害に強い県土づくり、危機管理体制の強化、豊かな自然と生物多様性の確保のため、社会資本整備重点計画及び宮崎県総合計画「未来みやざき創造プラン」に基づき施策の展開を図ります。

治 水 対 策

家屋の浸水被害など水害の多発している河川等、緊急性の高い河川から重点的に整備を進めています。

その取り組みとしては、河川拡幅や築堤工事を行う広域河川改修事業、総合流域防災事業等を行っているほか、輪中堤、宅地嵩上工事等を行う土地利用一体型水防災事業を実施しています。

五ヶ瀬川（川水流地区） H17.9



着手前

五ヶ瀬川（川水流地区）水防災事業（輪中堤） H30.3



完成後

三財川（西都市） R4.8



着手前

三財川（西都市）広域河川改修事業（河道掘削） R5.1



完成後

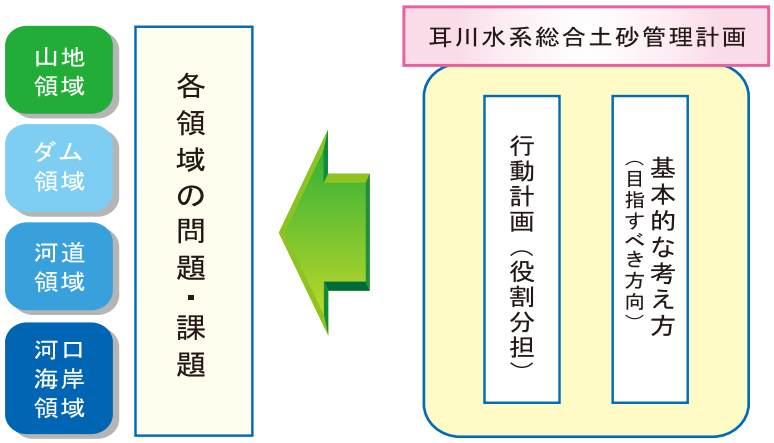
総合土砂管理の取り組み

宮崎県における総合土砂管理の取り組み

（耳川水系の事例）

耳川水系では、平成 17 年の台風 14 号により、流域市町村で甚大な浸水被害が発生し、河川やダムへ流入してくる土砂の堆積がその原因の一つとなっていたことから、山地を含めた流域全体での総合土砂管理について検討していくことが、大きな課題となっていました。

そこで、耳川水系の山地からダム、河川、河口域までの土砂に起因する様々な問題・課題に対して、関係機関と情報を共有しながら連携・協力し、総合的な土砂管理の課題解決に向けて、関係市町村、関係者、地域の方々を含めて議論を行い、「耳川をいい川にする」ため、流域共通の目標である「基本的な考え方」と、役割分担を明確にした「行動計画」とで構成された「耳川水系総合土砂管理計画」を平成 23 年 10 月に策定しました。

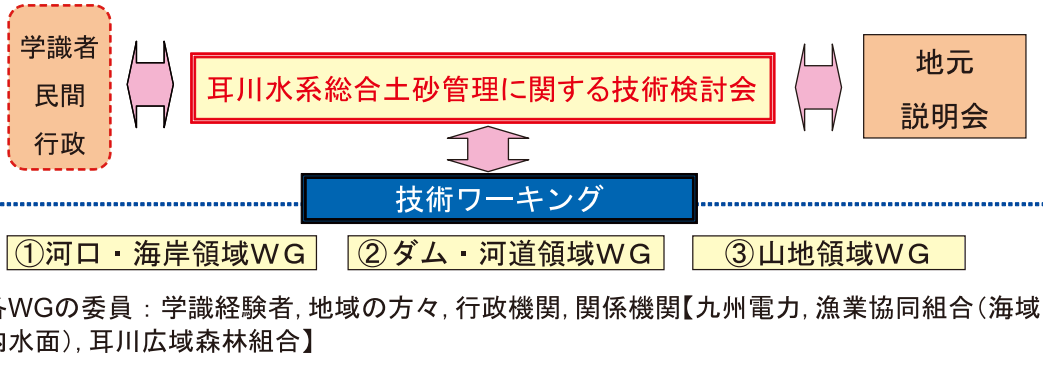


総合土砂管理計画策定の仕組み

土砂に起因する様々な課題解決に向けて、山地から海岸まで流域全体を対象として技術的に検討することを目的とした「耳川水系総合土砂管理に関する技術検討会」を設置しました。

また、土砂に起因する課題の解決には、流域全体で一貫した取り組みを地域住民・関連機関が共通認識のもとに連携して実施する必要があることから、技術検討会の作業部会として住民参加型の技術ワーキングを 3 領域（河口・海岸／ダム・河道／山地）で実施しました。

技術ワーキングでの議論内容は、技術検討会に展開し、また、地元説明会を実施し、地域住民との合意形成を図りました。



※各WGの委員：学識経験者，地域の方々，行政機関，関係機関【九州電力，漁業協同組合（海域，内水面），耳川広域森林組合】

危機管理（水防活動）

水防計画

水防は、洪水・津波又は高潮による被害を軽減し、公共の安全を保持する事を目的としています。県では、水防活動が円滑に行われるように毎年、県水防協議会に諮って、水防計画を定めています。

水防組織

知事は、水防法第 10 条第 1 項の規定により宮崎地方気象台長から気象状況の通知を受けた場合において、洪水・津波又は高潮等のおそれが著しく高い時で、水防の推進を図る必要があると認める時は、宮崎県水防本部を県庁内に置き、水防業務の総括にあたることにしています。

なお、水災に関して宮崎県災害対策本部が設置された場合は、その一環として、同時に水防本部が設置されることになっています。

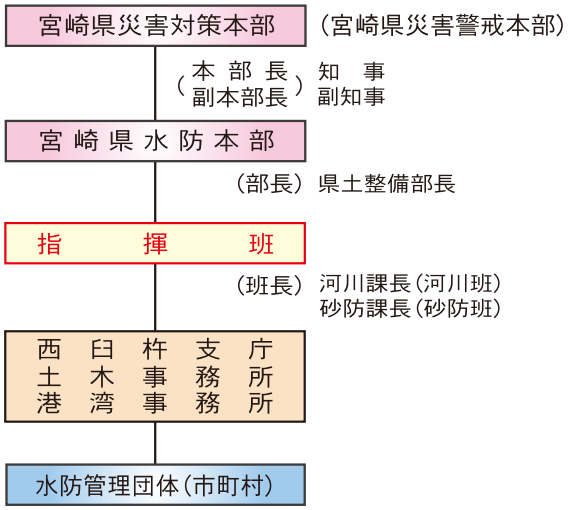
情報伝達

水防は、時間との闘いであるとも言われています。情報を迅速かつ正確に関係機関に伝達することが重要な課題となっています。このため、県の水防計画で情報伝達系統等について定めています。

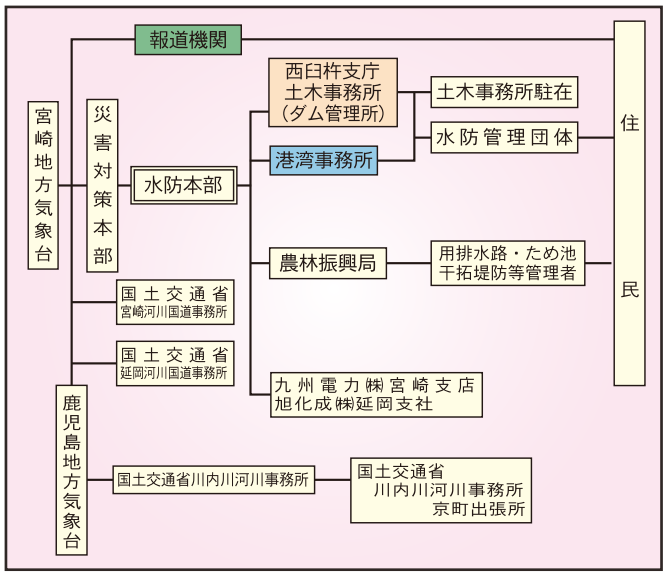
水防訓練

県では、市町村と一体となって、各種水防工法等の訓練を実施しています。

水防組織



情報の受領伝達系統図





（大淀川水防訓練の状況）

危機管理（ソフト対策）

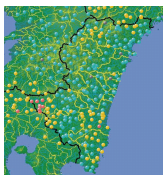
被害軽減のためのソフト対策 （宮崎県総合河川砂防情報システム）

宮崎県は、 全国有数の豪雨地帯であり、 毎年のように洪水による浸水被害や土砂災害に見舞われています。

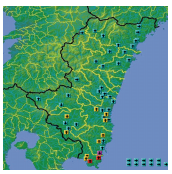
また、 南海トラフ巨大地震による津波や、 深層崩壊、 さらには火山災害など、 全国的に見ても大規模災害のリスクの高い環境下にあります。

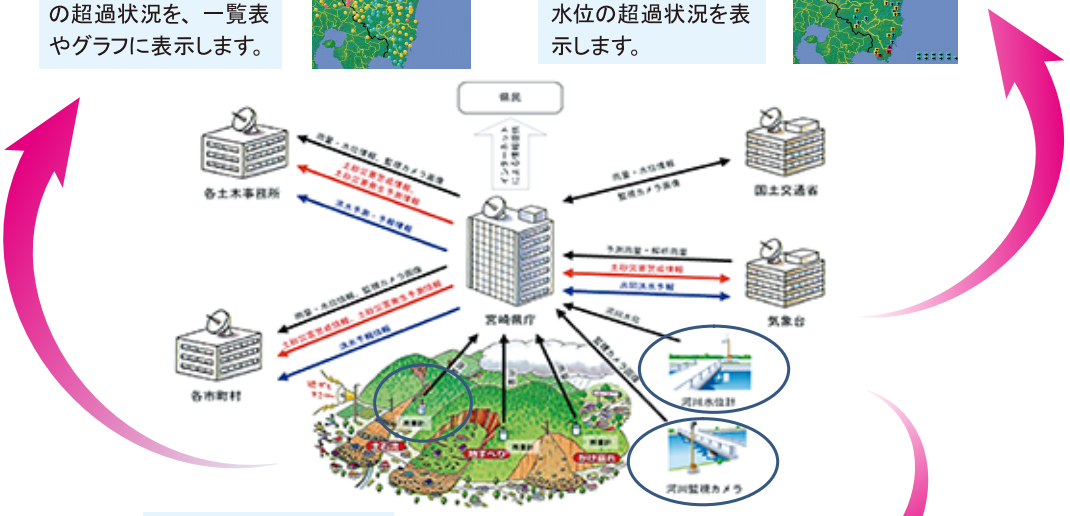
このため宮崎県では、 水防活動や土砂災害の発生監視に不可欠である雨量・水位やカメラ映像等の情報を県民や行政職員に提供し警戒避難態勢の整備を支援する「宮崎県総合河川砂防情報システム」を構築・運用し、 危機管理体制の強化を図ります。

●雨量情報
雨量観測所で観測した現況雨量や基準雨量の超過状況を、一覧表やグラフに表示します。



●水位情報
水位観測所で観測した現況水位や基準水位の超過状況を表示します。





●監視カメラ映像
県内に設置した河川監視カメラ局の画像データをリアルタイムに提供します。



地上デジタル放送を活用した河川防災情報提供について

インターネット環境がない方でも、防災情報データを取得できるよう、NHKデータ放送に雨量、水位の情報を提供しています。

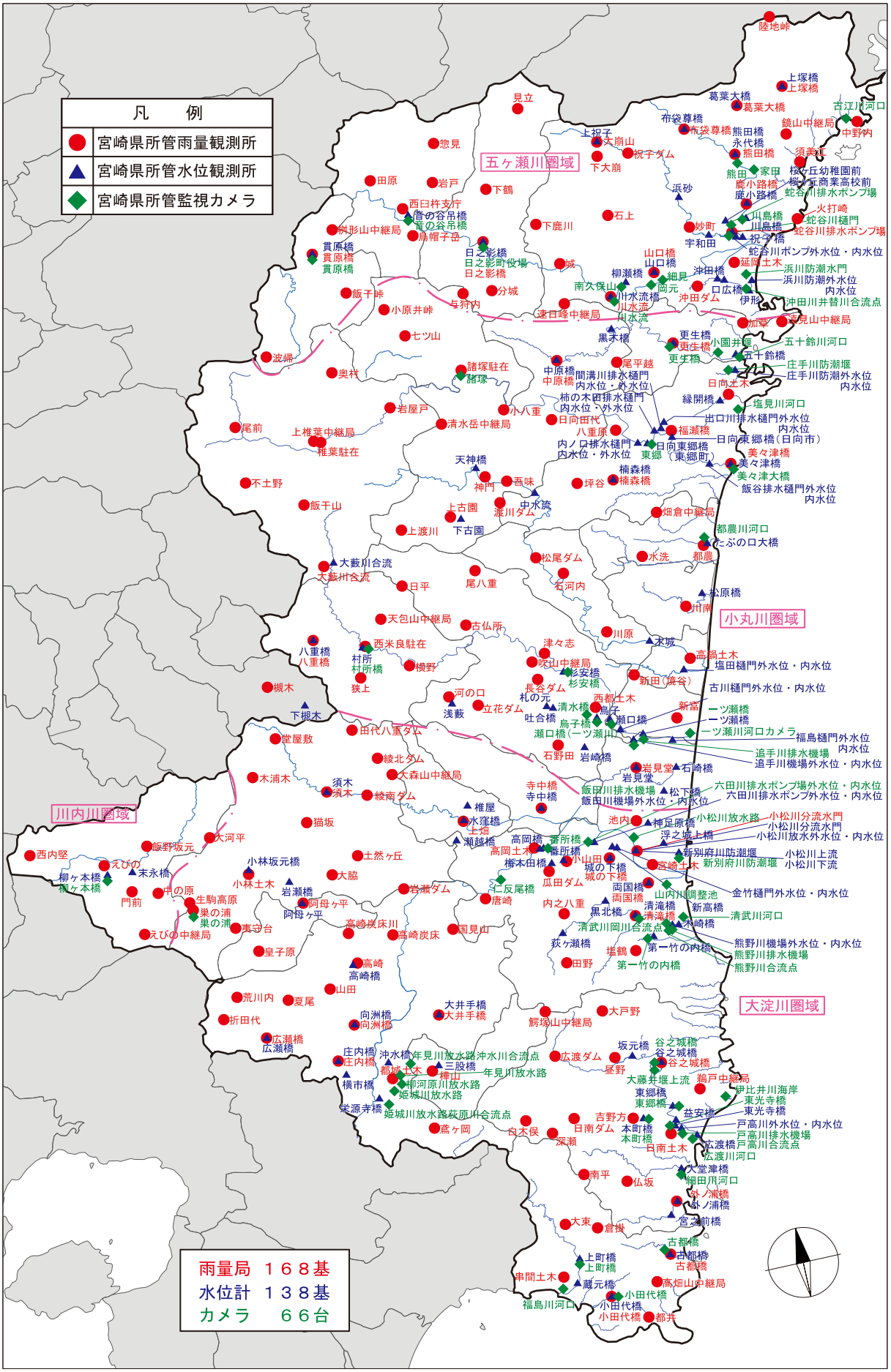
雨量や水位の情報を、オンタイムで知りたい時に閲覧することができます。

【画面イメージ】



宮崎県総合河川砂防情報システム設備位置図（1）

令和8年4月現在



宮崎県総合河川砂防情報システム設備位置図（2）

令和8年4月現在

